

春の風物詩「ヨシ焼き」

■ 3月4日(土)午後1時、晴れ。針江の琵琶湖岸のヨシ原で火入れ(ヨシ焼き)が行われました。今年の冬はたいそう雪が多かったため、例年より1ヶ月遅れての作業です。手馴れたシルバー人材さんやヨシ刈りの参加団体の方々が、満遍なく焼けるように順次火入れを行い、乾いたヨシが勢いよく燃え広がり、春の芽吹きを待つ、灰色の湖岸風景に…。たくさんの報道やカメラマンが熱気を帯びたヨシ焼きを映像に納めていました。また、4月になれば、ヨシが芽吹き、緑鮮やかなノウルシの風景が蘇ることと思います。

重要文化的景観「針江・霜降の水辺景観」の特性のひとつが「ヨシ群落」。湖岸のヨシ原は、琵琶湖の三大ヨシ帯の一つに数えられ、日本の原風景とも言うべき景観が現在も残されています。ヨシの群生地は、琵琶湖に住む魚類の貴重な産卵場所・棲息地として、生物多様性や自然環境保全面からも有意義な景観であるとされています。

ヨシは、ヨシ簀(よしず)やヨシ屋根の材料として好適であったことから、古来より地域の貴重な資源・生活の糧として保全されてきました。中でも「ヨシ刈り」・「ヨシ焼き」はヨシ群落を適切な状態で維持するために不可欠な作業として続けられてきました。近年は生業としてではなく、地域団体などによる保全活動によってその良好な景観が維持されています。

水辺景観を守る！川掃除



■針江・霜降地区のたいへん重要な年中行事が、川掃除です。霜降区は年3回(4月、7月、11月)、針江区では年4回(5月、7月、11月、3月)の川掃除が区民総出の作業となっています。針江では、その他に4月初旬の区内溝掃除(汚泥浚い)、農業・農地関係者の農排水掃除(7月、10月)が行われ、地域の河川が保全されています。

大川や小池川は、重要文化的景観「針江・霜降の水辺景観」の主要な構成要素です。両地区の川掃除は、水環境を保全する大切な作業であり、区民総出で住環境を守るまちづくり事業の一環です。

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会では、昨年度より国や市から交付されている補助金から、藻上げや藻の処分運搬に使用されている重機代等を環境整備費として支出しています。



■3月12日(日)、針江生水の郷委員会が、船も使って、針江大川に沈んでいる空き缶等のゴミ拾いを実施しました。ビニール・プラスチック・金属類など、おびただしいゴミ類が川底に沈んでおり、軽トラック2台分ほどにもなりました。一見きれいに見える大川でも、多くの散在性ゴミでいっぱいです。きれいな川を守るために区民の皆様のご協力をお願いします。

はいっしも探索



ヨシ刈り 12月



火入れ後のヨシ原



緑のヨシ原 4月

はいっしも information

★針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会から



JAPAN HERITAGE

日本遺産

守る。伝える。活かす。

★針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会に、高島市より交付された国の助成金が活用されています。

<平成28年度事業>

- 環境整備事業
 - ・針江大川・小池川掃除の藻上げ重機・ダンプ借り上げ
 - ・霜降会議所前の河川浚渫
 - ・霜降大川掃除のダンプ借り上げ
 - ・行者堂周辺・南大川東公園の清掃作業
 - ・行者堂の松の剪定、庚申さんの槇の剪定
- 水辺景観整備創出事業
 - ・霜降会議所前の湧水(かばた)掘削事業
 - ・水質検査 ・看板類の設置
- 広報活動
 - ・ホームページ・広報紙
- 関係機関への参画
 - ・高島市重要文化的景観整備活用委員会
 - ・日本遺産「水と文化」ツーリズム推進協議会
 - ・高島市景観審議会



日本遺産モニターツアー

★次年度も重要文化的景観/日本遺産である水辺景観の環境整備と活用のために、様々な事業を推進していきたいと思ひます。環境整備等で区民の皆様のご要望がありましたら、協議会役員までお知らせください。

f 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会のインフォメーションがホームページとFacebookで見られます。

<http://harie-syozu.jp>

